

# 2017 Sep, Oct 岐阜金華山タカの渡り (渡りの実績)

一般財団法人自然学総合研究所 客員研究員 太田多津雄



**Kinkazan in Gifu City** which is located in the southwest part of Gifu Prefecture, and is 1.7 km northeast of JR Gifu Station. From here, a mountains range of 500 to 800 meters extends in the northeast direction to the Hida mountain ranges such as Mt Norikura and Mt. Ontakesan. You can see Mt Ibukiyama in the west, or the Nobi Plain where the Nagara River, the Ibi River and Kiso River flow.

There are observation sites for hawks in the this prefecture, but in particular, this Suidouyama observation deck has facilities that can overlook 360 degrees of its surroundings, and you can see many kinds of hawks crossing the sky in every spring and autumn of each year. It is said to be one of the best places,

岐阜市金華山水道山は岐阜県の南西部に位置し、J R岐阜駅から北東 1.7 km, ここから北東方向に五〜八百メートルの山地が連なり乗鞍岳や御岳山などの飛騨山脈に至ります、西方には伊吹山、眼下に長良川・揖斐川及び木曽川が流れる濃尾平野を見渡せます。

県内にはタカ類の観察地がありますが、特に、この水道山展望台は周囲三百六十度を見渡せる施設もあり、毎年、春季・秋季に上空を渡る多くのタカ類を観ることが出来る最適な場所の一つであると云えます。

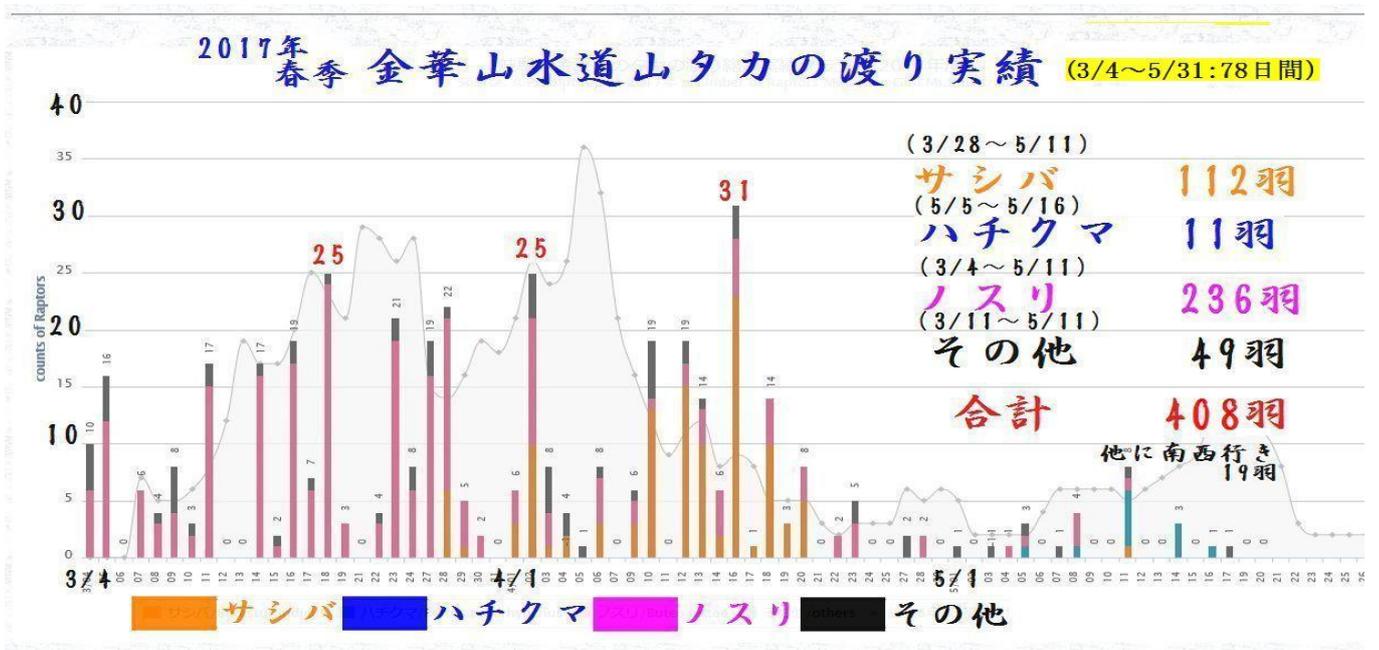
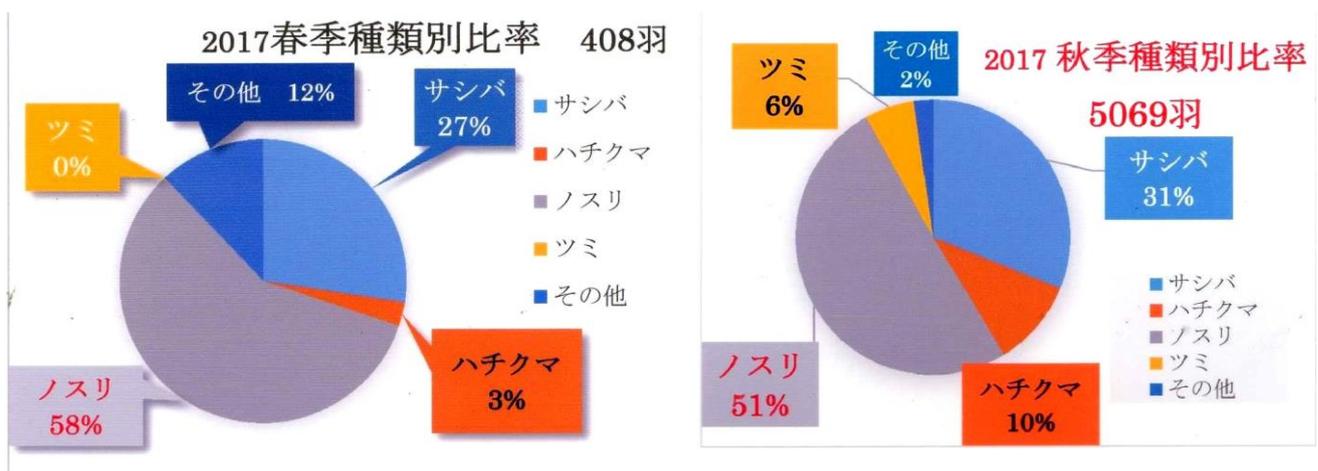


この水道山展望台で観察できるタカの種類は、サシバ、ハチクマ、ノスリ、ツミに加え、ハイタカ、ミサゴ、ハヤブサ、チゴハヤブサですが、他にトビ、オオタカなどが飛翔しています。

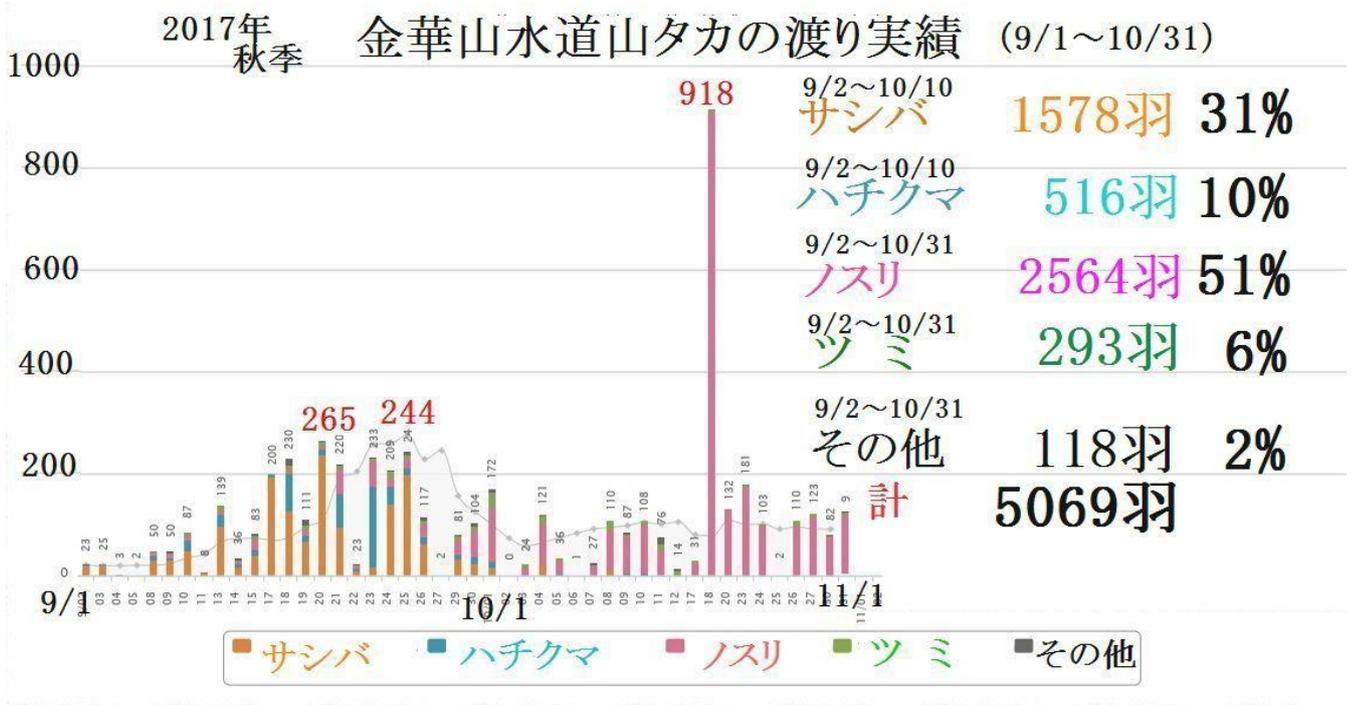
春季の渡りは概ねノスリが桃の節句頃から始まり・サシバへとなりハチクマは端午の節句以降で少数派です。秋季はサシバから始まりハチクマ、そしてノスリと渡りのピークが順次変化します。この様に春・秋季の出現順番も異なります。

**2017年春季**の渡りの観察結果は**約四百羽**でしたが、**秋季**の渡りの数は桁違いの**約五千羽**でした。春季は一年未満の幼鳥は繁殖能力が無く本邦へ渡来してくれません。また、本州中部地区の渡りコースは、春は北陸寄りと思われれますが、秋季は脊梁山地型の渡りコースらしく渡りの数も繁殖による幼鳥個体数も加わり、本観察場所で数多く確認できます。春と秋の渡りのコースは未だ確認できませんが若干違うようです。

### 2017年タカ類の渡り実績



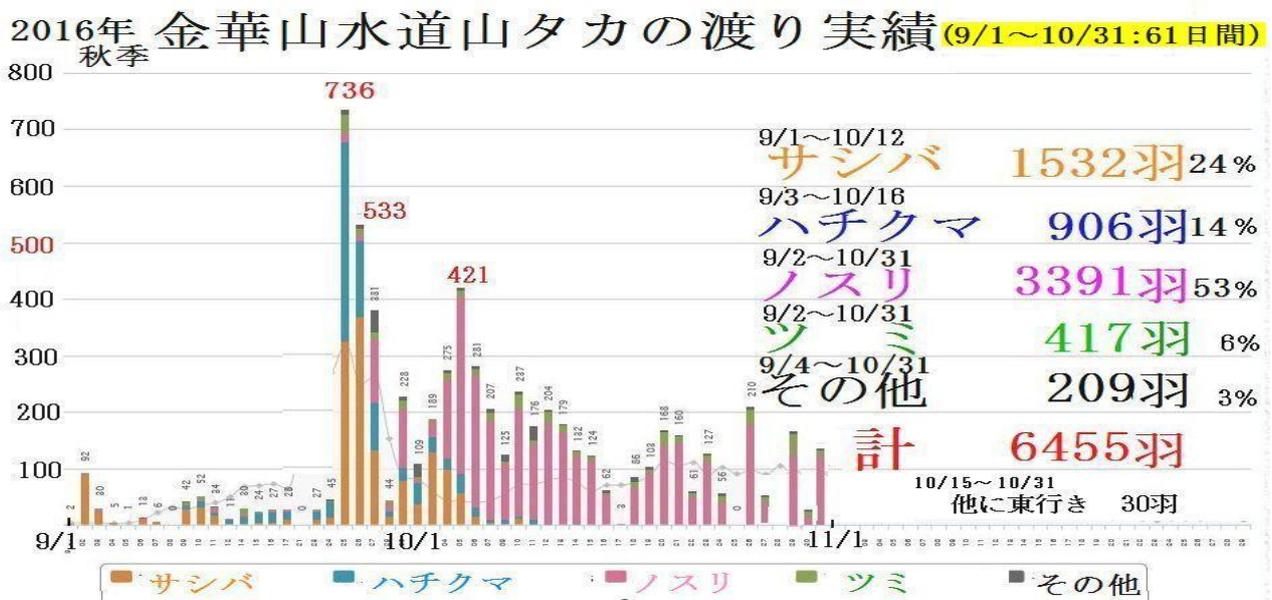
**2017年秋**のタカの西方への渡り総数は、**5069羽**です、**2016年**の**6455羽**（延べ観察日数52日、観察日率85%）と比較するとその約**79%**（2017年は延べ観察日数46日、観察日率75%）です。今年のサシバの総数は**1578羽**で**同程度**ですが、ハチクマは**516羽**との前年比**60%**程度、この二種類のピーク発生時期は秋分の日前後が多く、期間も十月上旬頃で終了しました。



ノスリは観察期間の全般に亘りますが、**2564羽**となり前年比**76%**となっています。ツミやその他のタカも観察数もほぼ同様な傾向です。なお、2017年秋季の観察総日数は前年比の87%でした。

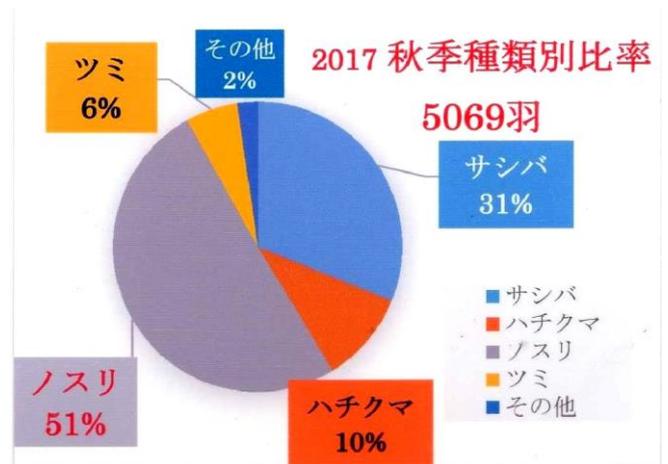
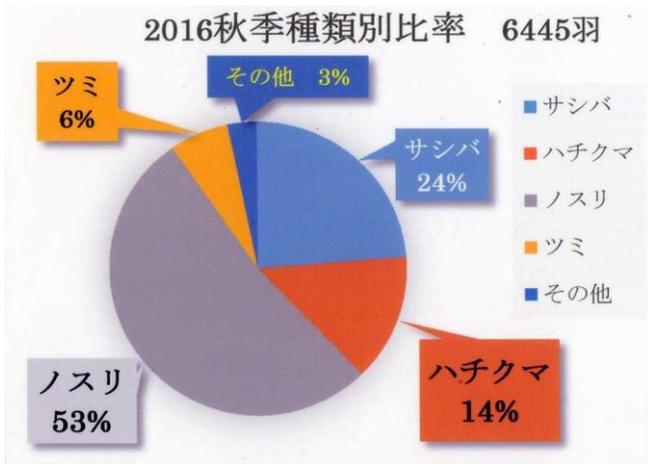
観察日数の相違もありますが、2017年の夏(6~8月)の降水量は東日本海側でかなり多く北日本日本海側も多く、全般的に夏季の冷夏・長雨で各地山間地では植物類の育成不良などを生じ、小動物へのエサ不足や10月の台風18号の襲来、秋雨前線の停滞等々などが気候・気象現象が影響しているとも考えられます。

### 2016年秋季実績



**2017年秋季で特筆することはノスリです。**過去、一日当たりの最大渡り数は2007年の**347羽**でした。平年の最大数は200~300羽程です。

ところが台風18号通過翌日、**2017年10月18日9時30分過ぎから絶え間なくノスリが渡り、50羽前後の柱が10回程、カウントするのが大変で圧巻のノスリの渡りの観察が出来きました。**合わせて**910羽**の渡りを確認できました。



当日のノスリの渡り数が 2017 年ノスリの渡り総数の三分の一以上となります。水道山展望台での観察を開始して以来、ノスリの渡り確認数の**新記録**です。

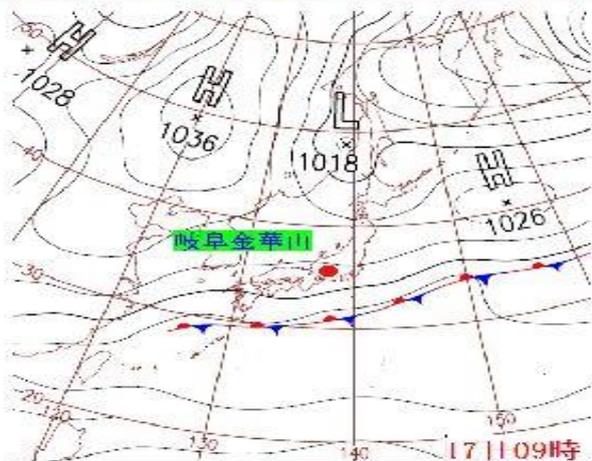
この要因と思われるのは日本海側が 10 月 12～16 日の前 5 日間ほど秋雨前線の天気のごずつきにより飛騨山間部に降雨が降り続いた結果、金華山上空にはほとんど渡って来ることが不可能であり晴れ間の当日に一挙に集中したと考えられます。当日は曇りで上昇気流もなく、ノスリ達はタカ柱を造り、先を急ぐ様にと羽ばたきながら低空を続々と渡りました。

ここで気象庁 Web 情報をお借りして 2017 年 10 月 17・18 日の天気図添付しておきます。

これによれば、14 日から日本の南岸に前線が停滞し日本海側を中心に雨で、17 日から 18 日に前線が南下して日本列島はつかの晴れとなりました。

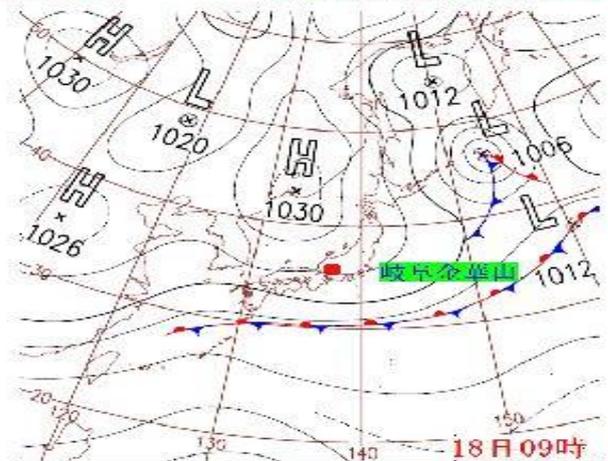
当日、金華山のノスリ達 910 羽はこの晴れ間のチャンスを逃さず西方へと渡って往きました。

## 2017年10月17・18日天気図



### 17日(月) 鉤路・旭川で初雪

鉤路は平年より24日早い。秋雨前線が南下、西～東日本の南岸中心に雨、日本海側や東北は次第に晴れ。北海道は寒気伴う気圧の谷通過により雨や雪で雷も。富山県立山で初冠雪。



### 18日(水) つかの間の晴れ

高気圧が張り出し近畿以北は一時的に晴れたが、前線や湿った空気の影響で次第に曇って西から雨、夜には西～東日本で雨。東京は6日ぶりの晴れ間。旭川で初霜、網走で初雪。

水道山でのタカ柱の観察をしていますと、殆んど金華山や鷹巣山付近、及び市街地上空で舞上り帆翔してタカ柱となって渡って往きます。その時間帯は午前中の八・九時からの数時間と考えられ、このような自然界の営みに観察中の私たちは感動しています。

なお、秋季の渡りで、西方（鈴鹿山脈・伊吹山方面二十数キロ）の視界が悪化してきますと、晴天の日に比べ空高く舞うタカの姿を観ることが少なくなってくるのが云えます。



タカ柱とは

タカ類が次の目的地を目指すため、上昇気流を探し求めて多くの汎翔（はんしょう：フワフワと浮かび飛ぶ様）することです。

観察者（人間）が風向や風力を感じない時でも、タカ達は懸命に旅立って往きます。

今回は 2017 年 9 月、10 月の岐阜金華山上空のタカの渡り状況を中心に纏め皆様にご紹介が出来ました、この水道山展望台は岐阜市街中心部からも比較的近く、ハイキングコースの一部にもなっています。春・秋季のタカが渡る期間だけでなく、一年を通じて金華山山麓は自然の豊かさを感じとって頂ける場所と考えます。是非、機会があればお立ち寄り下さい！

画像・資料提供者 大道寺・神谷・瀬古・大谷・R, Edmunds